

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 051	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 1. 県内シクラメン品種・系統の遺伝資源保存と発芽率及び形質の検定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当県の鉢物生産において、シクラメンは主要な作目であり、経営の柱とする生産者も多い。シクラメンの種苗については、オリジナル品種・系統を自家採種している生産者も多く、その保存方法によっては発芽率低下や形質劣化を起している事例も見られる。採種生産者自体も種子が何年維持できるのか、家庭用冷蔵庫での保存方法が適正かどうか等、不安に思いながら採種・保存しており、有用遺伝資源の維持・保存についての詳しい情報が必要とされている。 そこで、県内生産者が保有するシクラメン遺伝資源（種子）の収集保存および長期保存による発芽率や形質に対する影響について調査をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	種子は一般に低温・低湿度環境で保存します。家庭用冷蔵庫の標準的な設定温度は冷蔵室で5℃、冷凍室で-18℃であり、個々の生産者間において相違は無いと考えられます。低湿度環境は保存前の種子の乾燥、保存容器及び乾燥剤等により確保されます。これらは生産者個々において相違があることが想定されますので、保存に際し適正な方法を採用するよう現地における指導をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			